

分科会Ⅲ

「気候変動への対応と被害を最小化するための災害に強いまちづくり」



参加都市

スラバヤ市、福岡市、鹿児島市、熊本市、宮崎市、タイピン市、カトマンズ市、マニラ市、バンコク都、ダナン市、ホーチミン市

発表団体（発表順）	テーマ
福岡市	災害に強いまちづくり
スラバヤ市	スラバヤ市における災害危機管理
鹿児島市	世界有数の活火山「桜島」との共生 ～火山防災のモデル都市～
熊本市	災害に強いまちづくり ～熊本地震の経験と教訓～
宮崎市	南海トラフ巨大地震から市民の命を守るための宮崎市の対策について
カトマンズ市	カトマンズ市における災害管理の概要
マニラ市	マニラ市の防災と災害リスクマネジメントにおける地球物理学的脆弱性と高い人口密度問題への取組に有効なコミュニケーション
バンコク都	気候変動への対応と被害の最小化に向けた災害に強い都市の構築
ホーチミン市	ホーチミン市、持続可能な発展のための自然災害への対応
世界銀行	
株式会社クボタ	

[分科会報告]

1. 現状と新たな傾向

- アジア太平洋地域においては、気候変動やその他の自然災害の被害が拡大する傾向にある。持続可能なまちづくりにこれらの対策を行うことは不可欠となっており、持続可能な開発目標（SDGs）・パリ協定・仙台防災枠組等においては、自然災害への対応における都市の役割がより大きく位置付けられている。
- 自治体首長同士の連携、ソーシャルメディアを活用した情報発信、コミュニティの重要性、街のシンボルの復旧、防災計画の都市計画への反映、自然との共生、等の取組について、意見が交わされた。

2. 主な課題

- 気候変動への適応や地域防災計画策定・実施に関する情報やノウハウが十分に普及している状況とは言えず、「優良事例」から学ぶことが必要である。
- 災害時訓練や市民の災害に対する備えが、実際の災害時には必ずしも十分に活かされていないことが浮き彫りとなった。また、受援体制（災害支援を受ける側の体制）が整わず、外部からの支援を十分に享受できていないケースがいまだに問題として残っており、的確なプッシュ型支援や対口支援の有効性が指摘された。

3. リソースの活用、動員

- 気候変動への適応や地域防災計画策定・実施、緊急災害対応を目的とした国際的な資金リソースが準備され、活用され始めている。
- 国際的なレベルも含め、各種災害保険の活用、災害後の迅速な資金供給がより早い復興につながることの再確認。
- 気候変動への適応や災害対策に精通する専門的な知見を有する職員育成のニーズが高まっている。また、災害時の対応について住民への啓蒙活動（適切な情報提供、避難訓練等）も併せて求められている。

4. 取組に向けた提案

- アジア太平洋地域においては、各国政府や国際機関との連携を通じて、気候変動への適応と災害対策の知見を恒常的に共有する取組やメカニズムを強化する。また、自治体間相互協力協定や民間企業・各種団体との協力協定等（PPP含む）による連携強化の取組が有効である。さらに、住民意識向上や自助の重要性を再確認した。
- 日本政府・世銀間でのパートナーシップで運営されている先進国の災害事例を各国に活用する取組を歓迎し、今後も世銀を含めた国際機関の防災分野での役割の重要性を確認した。

モデレーター
前国連ハビタット福岡本部長 深澤 良信





駐日フィリピン共和国大使館次席大使
エドゥアルド・メネス



福岡市副市長 貞刈 厚仁



カトマンズ市長
ビドゥヤ・サンダー・シャキヤ





バンコク都筆頭顧問
ヴァロップ・スワンディー



宮崎市副市長 原田 賢一郎



鹿児島市長 森 博幸

全体会議

8月2日(木)

議長 福岡市長 高島 宗一郎

- 議題
- ・分科会報告
 - ・議決事項承認
 - ・共同宣言





共同宣言

「第12回アジア太平洋都市サミット」が、2018年8月1日、2日の2日間にわたり、16か国32都市の代表がここ福岡市に集い、国際連合人間居住計画（国連ハビタット）福岡本部と共同で開催された。

アジア太平洋都市サミットは、1994年に福岡市が提唱し創設され、これまで11回のサミット、10回の実務者会議の開催実績を重ね、各都市の課題やその解決に向けた取組の共有や相互協力のみならず、経済発展のための交流などを行い、多くの成果を挙げてきた。そして、アジア太平洋都市は、そのネットワークを活用しながら、国際的な都市間における相互理解と友好・協力により、調和がとれた都市の持続可能な相互発展を目指してきた。

現在、世界の総人口76億人のうち、約55%が都市に居住しているが、その割合は今世紀半ばまでに約70%に達するとされている。

特に、アジア太平洋地域では過去に例のない規模と速度で都市化が進行している。

都市環境の管理、適切な交通の促進、水の供給など様々な都市問題の解決をはじめ、女性・保健・教育・防災など、市民生活に最も密着した施策を担う「都市」は、国際連合総会で2015年に採択されたSDGsの17の全ての目標の推進と達成に不可欠な存在であり、その役割と責任は大きい。

また、高齢化に対応し、急速な都市化に伴って増大する環境や交通への負荷に対処し、気候変動により増大する災害リスクから市民を守るため、都市は民間セクターと連携し、ICT、IoT、AIなどの革新的技術をどのように活用し解決していくのか、都市政策にも、新たな挑戦が求められている。

今回のアジア太平洋都市サミットでは、SDGsを踏まえ、「住み続けられるまちづくり」をテーマの中心に、国際連合や国際機関、先進的な技術を有する民間企業等も参加し、優良事例の共有や議論を行うとともに、参加都市の友好をさらに深め、新たに国際機関等とのネットワークを構築し、先進的な技術の活用や持続的な開発を促進する取組に関する知見を得た。

この2日間にわたるプログラムを通じて、都市環境における都市レベルの様々な行動が、気候変動や災害・危機管理など地球規模の諸問題につながるため、都市レベルでの解決が持続可能な地球、より良いアジア太平洋地域の未来の実現に向けた希望であり、また、各都市の首長がリーダーシップを発揮することが、益々増大し高度化する都市問題の解決に必要不可欠であって、その使命と責任は都市のみならず持続可能な地球の未来に対しても負うものでなければならないことを認識した。

会議の閉会にあたり、アジア太平洋都市のさらなる発展と、国際的な都市間ネットワークを活用した都市問題の解決が、地球規模の課題解決にも寄与していくよう、下記の事項を福岡宣言として採択する。

- 1 アジア太平洋都市は、これからも、互いに尊重しながら、相互扶助、互恵の精神をもって、都市の健全な発展と都市政策の前進に向け、交流と協力を推進し、その基盤となる都市間ネットワークの充実を図っていく。
- 2 アジア太平洋都市は、都市間ネットワークや国際的な会議の場などを通じて、国際連合や国際機関の協力と連携を得ながら、他都市の様々な取組や世界の動向を真摯に学び、その蓄積された知識や経験を活用するとともに、最先端の技術革新を積極的に取り入れながら、都市の持続可能な開発と社会の進歩に向けて、具体的に行動していく。
- 3 アジア太平洋都市は、SDGsを踏まえ、相互に協力しながら、都市の経済発展と、環境の保全や保護、貧困や格差の是正、教育や医療、社会保障の充実、社会的包摂を実現することで、人と環境と都市活力の調和がとれた都市づくりを行い、地球規模の課題解決に寄与し、未来の世代が夢や希望を抱くことのできる世界を築いていく。
- 4 アジア太平洋都市サミットは、SDGsの推進と実現に向けたアジア太平洋都市の取組みと国際的な都市間連携の意義と実質的成果を、世界中へ積極的に発信していく。
- 5 2020年に、日本国福岡市で第13回アジア太平洋都市サミット市長会議を開催する。

2018年8月2日

日本国・福岡市にて

閉会式

8月2日(木)





閉会挨拶

福岡市長 高島 宗一郎

2日間にわたり、「住み続けられるまちづくり」を全体テーマに、シャリフ事務局長や有馬代表理事のご講演、ハビタットセッション、分科会などにおいて、活発な議論が行われました。SDGsと都市のあり方、地球の未来について考えるとともに、先進事例を学び、互いの経験や知識・情報を交換することができました。

都市問題の解決に向けて、都市や国際機関、企業などが連携し、知恵を出し合い、協力していくことの意義を改めて確認し、また、持続可能な世界を築いていくために、都市が、重要な役割を担うことやリーダーシップを発揮していくべきであるという認識を共有できたと思います。

このサミットをきっかけとして、今後さらに、都市の交流や連携が深まり、それぞれの都市の発展とともに、アジア太平洋地域、そして世界の平和と発展に向けて、皆様と力をあわせ、都市主導の貢献を行っていかれたらと思っています。また、会議の成果は、国連ハビタットなどの協力もいただき、世界にアピールしていく予定です。

次回「第13回アジア太平洋都市サミット」は、再来年の2020年、ここ福岡市で開催します。日本でオリンピック・パラリンピックが開催される年、再び皆様とお目にかかれますことを楽しみにしています。

最後に、第12回アジア太平洋都市サミットを開催するにあたり、多くの方々からご支援ご協力を賜りましたことに心からお礼を申し上げて、閉会の挨拶とさせていただきます。



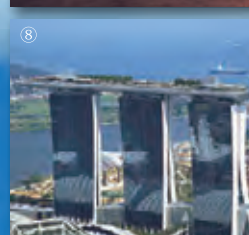
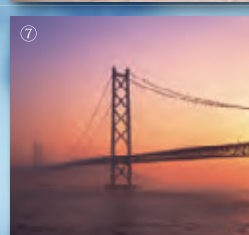
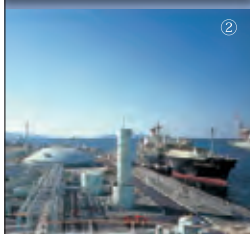


JFE エンジニアリング 株式会社

JFE

もと

くらしの礎を創る くらしの礎を担う



JFE エンジニアリングは、環境・エネルギー分野や社会インフラ分野などにおいて、人々の生活と産業を支えるエンジニアリング事業を展開しています。

私たちは、くらしの礎を「創り」、それを継続的に「担う」企業として、これからも社会の発展に貢献していきます。

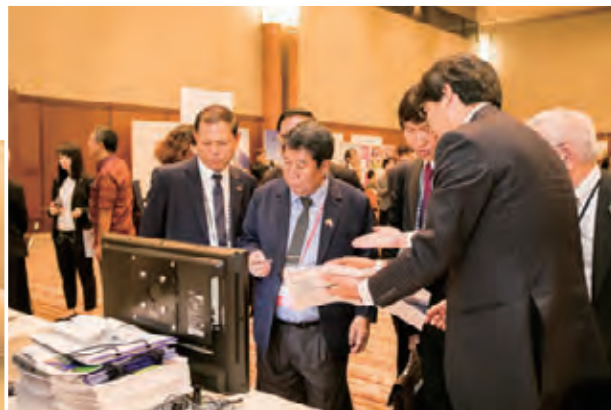
① 国内最大規模の廃棄物発電施設 ② 天然ガスの受け入れステーション ③ ミャンマー初の廃棄物発電施設 ④ フィリピン最大級の下水処理場 ⑤ 汚泥消化設備
⑥ バイオマス発電設備 ⑦ 世界最大規模の吊橋 ⑧ シンガポールのスカイパーク ⑨ 天然ガス生産プラント

【お問合せ先】 JFEエンジニアリング(株) ホームページ / <http://www.jfe-eng.co.jp>



展示 ブース

8月1日(水)・2日(木)



出展者一覧

出展都市	出展企業	その他の出展団体
中華人民共和国	株式会社日立製作所	国連ハビタット
長沙市	株式会社クボタ	世界銀行
大連市	JFEエンジニアリング株式会社	アジア開発銀行
上海市	三菱電機株式会社	独立行政法人国際協力機構
銀川市	NEC	一般社団法人海外環境協力センター
日本	独立行政法人都市再生機構	福岡地域戦略推進協議会
福岡市	積水ハウス株式会社	公益社団法人福岡貿易会
鹿児島市	株式会社フクダ・アンド・パートナーズ	日本ハビタット協会
北九州市	株式会社正興電機製作所	ラグビーワールドカップ
熊本市	三菱化工機株式会社	
宮崎市	機動建設工業株式会社	
長崎市	大成管理開発株式会社	
大分市	福岡環境整備株式会社	
マレーシア		
イポー市		
大韓民国		
光陽市		
浦項市		

展示 ブース





浦項市長
イ・ガンドク



バイ会談

8月1日(水)・2日(木)



ホノルル市副市長
ロイ・アメミヤ



ホーチミン市人民委員会 副委員長
トラン・ビン・トゥエン





バイ 会談





歓迎 レセプション

8月1日(水)





国連ハビタット
福岡本部長
是澤 優



中華人民共和國
駐福岡総領事館 総領事
カ シンリョウ
何 振良



ベトナム内務副大臣 トラン・アン・トゥアン



オークランド市長 フィル・ゴフ



ダナン市人民委員会 副委員長
トラン・ヴァン・ミエン



福岡市議会議長 川上 晋平



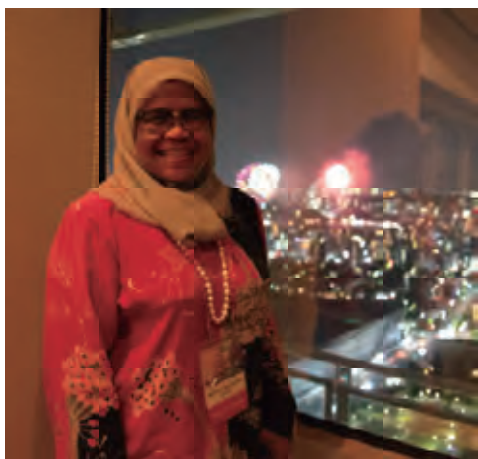
在福岡ベトナム社会主義共和国
総領事館 総領事
グエン・フォン・ホン



大濠公園 花火大会 鑑賞

8月1日(水)





フェアウェル パーティー

8月2日(木)





視察

8月3日(金)

- | | |
|------------------|----------------------------|
| コース1(9:00~12:00) | 水管理センター、博多旧市街(櫛田神社~川端通商店街) |
| コース2(9:00~12:00) | アイランドシティ、海水淡水化センター(まみずピア) |
| コース3(9:30~15:30) | 水素ステーション、西部(中田)埋立場、今津運動公園 |
| コース4(9:00~16:30) | 山王雨水調整池、アイランドシティ、宗像大社 |





参加都市代表者



カンボジア
プノンペン都

副知事
ヌオン・パラット



中華人民共和国
長沙市

副市長
劉明理(リュウ・ミンリー)



中華人民共和国
大連市

副市長
駱東昇(ルオ・ドンシェン)



中華人民共和国
広州市

市長
温国輝(ウェン・グオファイ)



中華人民共和国
上海市

住宅都市農村建設管理委員会
副主任
馬韜(マー・レン)



中華人民共和国
銀川市

住宅都市整備局副局長
劉加鵬(リュウ・ジャパン)



インドネシア
スラバヤ市

市長
トリ・リスマハリニ



日本
福岡市

市長
高島 宗一郎



日本
鹿児島市

市長
森 博幸



日本
北九州市

副市長
梅本 和秀



日本
熊本市

市長
大西 一史



日本
宮崎市

副市長
原田 賢一郎



日本
長崎市

市長
田上 富久



日本
大分市

市長
佐藤 樹一郎



日本
佐賀市

市長
秀島 敏行



マレーシア
イポー市

都市計画部長
ズルカルナイン・ビン・
モハマド



マレーシア
タイピン市

市長
ラヒム・ビン・アリフ



モンゴル
ウランバートル市

副知事
エンフトウル・ドルジフー



ミャンマー
ヤンゴン市

市長
マウン・マウン・ソー



ネパール
カトマンズ市

市長
ビドゥヤ・サンダー・
シャキヤ



ニュージーランド
オークランド市

市長
フィル・ゴフ



フィリピン
マニラ市

駐日フィリピン共和国大使館
次席大使
エドゥアルド・メネス



大韓民国
釜山広域市

副市長
ユ・ジェス



大韓民国
光陽市

市長
ジョン・ヒョンボク



大韓民国
浦項市

市長
イ・ガンドク



ロシア連邦
ウラジオストク市

市長
ビターリ・ベルケエンコ



シンガポール

国家開発省・暮らしやすい
都市研究所長
クー・テン・チャイ



タイ
バンコク都

筆頭顧問
ヴァロップ・スワンディー



米国
ホノルル市

副市長
ロイ・アメミヤ



ベトナム
ダナン市

人民委員会副委員長
トラン・ヴァン・ミエン



ベトナム
ハノイ市

人民委員会副委員長
フン・ティ・ホン・ハ



ベトナム
ホーチミン市

人民委員会副委員長
トラン・ビン・トゥエン

第12回アジア太平洋都市サミット プレイベント SDGs ビジネスセミナー

日 時 | 2018年4月19日(木) 10時00分～17時00分

場 所 | 天神ツインビル

参加者 | 企業経営者、経営企画部門やCSR部門の責任者等150名

主催者 | 福岡市国際部

- 内 容
- ・「SDGsとESG投資」
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
運用本部スチュワードシップ責任推進室長 小野塚 恵美
 - ・「SDGsの達成・Society5.0の実現に貢献する日立の取り組み」
株式会社日立製作所 サステナビリティ推進本部 副本部長 高橋 和範
 - ・「東京海上グループのSDGsへの取り組み」
東京海上日動火災保険株式会社 経営企画部 CSR室 担当課長 鯉沼 伸行
 - ・「ASV 味の素グループの事業による社会課題の解決」
味の素株式会社 グローバルコミュニケーション部 CSRグループ長 長谷川 泰伸
 - ・「SDGs への取組とグローバル・コンパクト」
グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン 経営執行理事 後藤 敏彦



ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
運用本部スチュワードシップ
責任推進室長

小野塚 恵美



株式会社日立製作所
サステナビリティ推進本部
副本部長

高橋 和範



東京海上日動火災保険
株式会社 経営企画部
CSR室 担当課長

鯉沼 伸行



味の素株式会社
グローバルコミュニケーション部
CSRグループ長

長谷川 泰伸



グローバル・コンパクト・
ネットワーク・ジャパン
経営執行理事

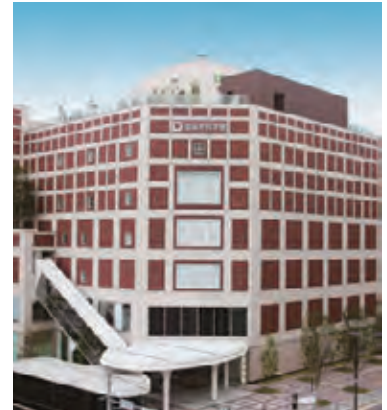
後藤 敏彦



第12回アジア太平洋都市サミット プレイベント

SDGsを考える市民講演会

- 日時** | 2018年7月31日(火) 14時00分～16時00分
- 場所** | 福岡市科学館
- 参加者** | 一般市民300名
- 主催者** | 福岡市国際部
- 目的** | 一般市民を対象にしたSDGsに関する講演会。
SDGsとは何か、なぜ取り組まなければならないのかを市民に知ってもらい、SDGsの達成に向けた市民主体の活動を促す
- 内容** | ・「未来のあたりまえ - SDGsがなぜ必要か-」
国連開発計画 (UNDP) 駐日代表事務所
駐日代表 近藤 哲生
・「地球上の人と生き物に『気持ちよい』暮らしを
ビジネスを」
Deep Green Consulting 代表、
跡見学園女子大学兼任講師 柊井 まり
・「SDGsってなあ〜ん??」
吉本興業株式会社 (サカリスト、メタルラック、ミキ)



国連開発計画 (UNDP) 駐日代表事務所 駐日代表 近藤 哲生

東京都立大学卒。米国ジョーンズ国際大学修士号 (開発学)。1981年外務省入省。2001年にUNDP本部に出向。2005年に外務省を退職し、UNDP バンコク地域本部スマトラ沖津波被害復興支援上級顧問等を経て、2007年にUNDP コソボ事務所副代表、2010年UNDP チャド事務所長に就任。2014年より現職。



Deep Green Consulting 代表、跡見学園女子大学兼任講師 柊井 まり

国内外の企業や研究機関等にサステナビリティ・ESGに関する政策分析・執筆・講演・社員研修等を提供。企業の社会的責任 (CSR)、エシカル消費等の分野でSDGsの推進をサポート。英国Kent大学博士号 (環境法学)。国際環境NGO 環境調査エージェンシー (EIA) ロンドンオフィスを経て2007年より独立し、現職。



三菱電機は安全で清潔な水を供給するための高効率・低消費電力の様々な水処理システムを公共、及び産業分野に提供しております。

現在19年度からの販売開始に向け、三菱オゾンナイザ技術を応用した水処理装置「EcoMBR」を開発中です。EcoMBRの主な特長は、オゾン水でろ過膜を洗浄し、膜面積当たりの処理水量を従来比2倍に増量できます。これにより膜本数、及び膜洗浄用風量を削減でき、省エネ・コンパクト化を実現します。

また、水処理監視制御技術を用いた高信頼性、高度水処理監視制御システムを国内外に向け提供することにより、アジア、及び世界で、水の安定供給、効率運用に貢献しております。

三菱電機株式会社
東京都千代田区丸の内 2-7-3
電話番号: +81-3-3218-2111(代表)
URL: <http://www.mitsubishielectric.com/products/public/>



NEC

ともに奏で、ともに創る。
私たちの未来。

私たちは世界中の人びとと協奏しながら、
先進のICTで、明るく希望に満ちた社会を
実現していきます。

Orchestrating a brighter world

參考資料

The 12th Asian-Pacific City Summit
SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES

会員都市

13か国30都市 (2018年7月現在)



オーストラリア

- ブリスベン市

中華人民共和国

- 長沙市
- 大連市
- 広州市
- 香港特別行政区
- 上海市
- ウルムチ市

インドネシア

- ジャカルタ特別市

日本

- 福岡市
- 鹿児島市
- 北九州市
- 熊本市
- 宮崎市
- 長崎市
- 那覇市
- 大分市
- 佐賀市

マレーシア

- イポー市
- クアラルンプール市

ニュージーランド

- オークランド市

フィリピン

- マニラ市

大韓民国

- 釜山広域市
- 光陽市
- 濟州特別自治道
- 浦項市

ロシア連邦

- ウラジオストク市

シンガポール

- シンガポール

タイ

- バンコク都

米国

- ホノルル市

ベトナム

- ホーチミン市

アジア太平洋都市サミットの実施状況

市長会議

開催地	開催日	全体会議テーマ	参加都市
第1回 福岡市	1994. 9.22～9.25	アジア太平洋時代における都市の発展と人間居住環境との調和	11か国・地域 21都市
第2回 広州市	1996. 9.27～10.1	21世紀における都市の発展	11か国・地域 20都市
第3回 福岡市	1998. 7.11～7.13	都市連携の将来展望	11か国・地域 23都市
第4回 釜山広域市	2000. 5.13～5.15	新たな千年紀におけるアジア太平洋都市の経済発展	12か国・地域 23都市
第5回 福岡市	2002. 8.30～9.1	21世紀型の新しい都市づくり ～ガバメントからガバナンスへ～	12か国・地域 24都市
第6回 バンコク都	2004. 11.30～12.2	持続可能な都市開発:新しいアプローチ	10か国・地域 14都市
第7回 ウルムチ市	2006. 8.8～8.10	調和ある都市の発展	6か国・地域 14都市
第8回 大連市	2008. 9.28～9.30	アジア太平洋先進都市 ～環境、資源、文化及び産業に関する新思考～	11か国・地域 34都市
第9回 ウラジオストク市	2010. 9.30～10.1	持続可能なアジア太平洋都市の発展 ～世界的経済危機下での新しい都市政策～	6か国・地域 13都市
第10回 浦項市	2012. 7.26～7.28	低炭素グリーン成長のための都市政策と都市間連携	10か国・地域 23都市
第11回 熊本市	2013. 10.31～11.2	くらしやすい都市づくり ～安心で、住みやすく、働きやすいまちづくり～	13か国・地域 24都市
第12回 福岡市	2018. 8.1～8.3	住み続けられるまちづくり	16か国・地域 32都市



実務者会議

開催地	開催日	テーマ	参加都市
第1回 福岡市	1995. 10.26～10.27	アジア太平洋地域の都市における交通マネジメント (交通運営施策及び需要の抑制)	10か国・地域 20都市
第2回 福岡市	1997. 11.26～11.28	ごみの処理処分 (持続的発展をめざした環境への取り組み)	9か国・地域 18都市
第3回 福岡市	1999. 11.30～12.2	安全な水道水の供給	9か国・地域 18都市
第4回 釜山広域市	2001. 9.6～9.8	アジア太平洋都市間の観光交流の拡大方策	8か国・地域 18都市
第5回 熊本市	2003. 11.9～11.10	市民協働の街づくり	9か国・地域 18都市
第6回 ウルムチ市	2005. 9.10～9.12	多元的文化を通じての都市の発展	3か国・地域 9都市
第7回 北九州市	2007. 7.30～8.1	住民による美しいまちづくりと都市の魅力	5か国・地域 15都市
第8回 福岡市	2009. 9.17～9.18	文化芸術活動による都市の魅力づくり	7か国・地域 17都市
第9回 鹿児島市	2011. 8.18～8.20	みんなでつなぐ 人と地球にやさしいまちづくり	7か国・地域 18都市
第10回 バンコク都	2014. 12.17～12.18	バランスのとれた暮らしと持続可能な生活	5か国・地域 13都市



アジア太平洋都市サミット規約

第1章 総則

(名称)

第1条 この組織の名称は、アジア太平洋都市サミット（英文名 Asian-Pacific City Summit 以下「都市サミット」という。）という。

(目的)

第2条 都市サミットは、都市化の進展に伴い発生する都市問題の解決に向け、アジア太平洋地域の諸都市が、都市の連携とネットワークの構築を目指すことにより、アジア太平洋地域の一層の発展と世界の恒久平和に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 都市サミットは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 市長会議の開催
- (2) 実務者会議の開催
- (3) その他都市サミットの目的を達成するために必要な事業

第2章 会員都市

(会員都市)

第4条 都市サミットの会員都市は、別表のとおりとする。

(代表者)

第5条 会員都市の代表者は、原則として市長又は市長相当職とする。

(加入)

第6条 都市サミットに新たに加入しようとする都市は、文書により、事務局に申請する。

- 2 事務局は、前項の申請について、その受理後最初に開かれる市長会議に付議する。
- 3 会員の資格は、市長会議における承認の日から効力を生じる。

(脱退)

第7条 会員都市は、事務局に、脱退を文書で申し出ることにより、脱退することができる。

- 2 脱退の効力は、事務局が前項の規定による申し出を受理した日から起算して30日を経過した日をもって生じる。
- 3 会員都市は、都市サミットを脱退した場合においても、この規約に基づき脱退前に負うこととされた義務については、脱退後も誠実にこれを履行しなければならない。

第3章 市長会議

(市長会議)

第8条 市長会議は、原則として、2年に1回開催する。

- 2 市長会議は、開催都市の代表者が招集する。

(構成)

第9条 市長会議は、会員都市の代表者をもって構成する。

- 2 市長会議には、会員都市の代表者が出席することを原則とする。ただし、代表者本人が出席できない会員都市は、代表者が他の者に権限を委譲し、出席させることができる。
- 3 会員都市以外の都市であっても、会員都市の紹介により、オブザーバーとして市長会議を傍聴することができる。

(権限)

第10条 市長会議の権限は、次のとおりとする。

- (1) 規約の改廃
- (2) 新規加入の承認
- (3) 市長会議及び実務者会議開催都市の決定
- (4) その他都市サミットの運営についての重要な事項の決定

(議長)

第11条 市長会議の議長は、原則として開催都市の代表者が務める。

(定足数及び議決方法)

第12条 市長会議の定足数は、全会員都市の2分の1とする。

- 2 市長会議の議決は、原則として、出席会員都市の過半数の賛成により議決する。

(経費)

第13条 市長会議の開催に関わる経費は、開催都市の負担とする。

2 市長会議の出席に関わる経費（渡航費及び滞在費）は、出席都市の負担とする。ただし、開催都市が、その判断により当該経費の一部を負担することを妨げない。

(開催都市の決定)

第14条 市長会議の開催を希望する会員都市は、事務局へ申請する。

- 2 事務局は、前項の申請について、その受理後最初に開かれる市長会議に付議する。

第4章 実務者会議

(実務者会議)

第15条 実務者会議は、原則として、2年に1回開催する。

2 実務者会議は、開催都市の代表者が招集する。

(構成)

第16条 実務者会議は、会員都市の実務者をもって構成する。

2 会員都市以外の都市であっても、会員の紹介により、オブザーバーとして実務者会議を傍聴することができる。

(権限)

第17条 実務者会議は、市長会議で決定された合意事項の実現を図るため協議を行う。

2 実務者会議の結果は、原則として、実務者会議の開催都市が市長会議に報告する。

(議長)

第18条 実務者会議の議長は、原則として開催都市が選出する者が務める。

(経費)

第19条 実務者会議に関わる経費は、第13条の規定を準用する。

(開催都市の決定)

第20条 実務者会議の開催都市の決定に関しては、第14条の規定を準用する。

第5章 事務局

(事務局)

第21条 都市サミットの事務局は福岡市に置く。

2 事務局の運営に要する経費は、福岡市が負担する。

3 事務局は、次の事業を行う。

(1) 会員都市間の連絡及び調整

(2) 市長会議、実務者会議、その他都市サミットの事業に関する連絡、調整及び支援

(3) 各種会議の記録や都市サミットの運営に関する情報の保管及び提供

(4) 都市サミットの運営全般に関する調査及び研究

(5) その他、都市サミットの運営に関する事項

4 その他、事務局の運営に関し必要な事項は、福岡市が別途定める。

附則

この規約は、2002年8月31日から施行する。

附則

この規約は、2008年9月29日から施行する。

附則

この規約は、2010年9月30日から施行する。

附則

この規約は、2012年7月27日から施行する。

別表

オークランド市 (ニュージーランド)	香港特別行政区政府 (中華人民共和国)	宮崎市 (日本国)
バンコク都 (タイ王国)	ホノルル市 (アメリカ合衆国)	長崎市 (日本国)
ブリズベン市 (オーストラリア連邦)	イポー市 (マレーシア)	那覇市 (日本国)
釜山広域市 (大韓民国)	ジャカルタ特別市 (インドネシア共和国)	大分市 (日本国)
長沙市 (中華人民共和国)	済州特別自治道 (大韓民国)	浦項市 (大韓民国)
大連市 (中華人民共和国)	鹿児島市 (日本国)	佐賀市 (日本国)
福岡市 (日本国)	北九州市 (日本国)	上海市 (中華人民共和国)
広州市 (中華人民共和国)	クアラルンプール市 (マレーシア)	シンガポール (シンガポール共和国)
光陽市 (大韓民国)	熊本市 (日本国)	ウルムチ市 (中華人民共和国)
ホーチミン市 (ベトナム社会主義共和国)	マニラ市 (フィリピン共和国)	ウラジオストク市 (ロシア連邦)

協賛企業一覧

HITACHI
Inspire the Next

株式会社クボタ

 JFE エンジニアリング 株式会社

 **MITSUBISHI
ELECTRIC**
Changes for the Better


Orchestrating a brighter world

NEC

街に、ルネッサンス

 **UR** UR都市機構

積水ハウス株式会社

 前田建設工業株式会社

F&P フクダ・アンド・パートナーズ
Co-sourcing Service

株式会社正興電機製作所

 三菱化工機株式会社
MITSUBISHI KAKOKI KAISHA, LTD.

 機動建設工業株式会社

 大成管理開発株式会社

 福岡環境整備株式会社

 **NTT都市開発**
誠実に、革新的に

FUJITSU

 住友商事九州株式会社

 双日九州株式会社

前澤工業株式会社

 YUKO MARINER
NIPPON

 九州電力
ずっと先まで、明るくしたい。

 福岡銀行

 ココロがある。コトエがある。
西日本シティ銀行

 Make Next.
株式会社 九電工

110
10th ANNIVERSARY
まちに、夢を描こう。
Nishitetsu
Group

 JR九州

 西部ガス

第12回アジア太平洋都市サミット 報告書
2018年11月発行

編集・発行

アジア太平洋都市サミット事務局
〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8番1号
福岡市総務企画局国際部内
TEL:092-711-4028 FAX:092-733-5597
E-mail: apcs@city.fukuoka.lg.jp
Website: <http://apcs.city.fukuoka.lg.jp/>



The 12th Asian-Pacific City Summit

SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES

19-21 OCTOBER 2018

APCS2018
FUKUOKA

1F



ummit

1-3 August 2018
Fukuoka, Japan

AMBA ACCREDITED EQUIS ACCREDITED AACSB ACCREDITED

The 12th
**Asian-Pacific
City Summit**

SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES

1-3 August 2013
Fukuoka, Japan

Asian-Pacific City Summit

Sustainable Cities and Communities

The 12th
Asian-Pacific
City Summit

1-3 August 2013
Fukuoka, Japan

Exhibition



UN HABITAT
FOR A BETTER URBAN FUTURE

 福岡市
FUKUOKA CITY

アジアのリーダー都市へ
FUKUOKA NEXT 